

科目コード: 0100

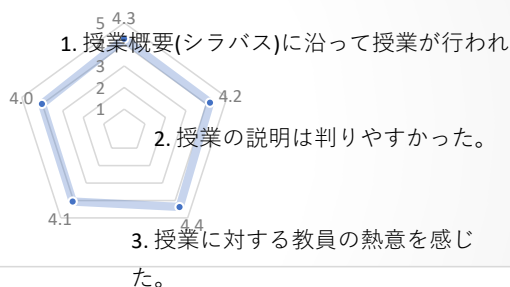
科目名 1年 教養科目

回答者数: 510 名

設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	208	229	68	5	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	220	185	88	13	4	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	267	176	59	5	3	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	188	186	119	11	6	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	173	195	124	11	7	4.0
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

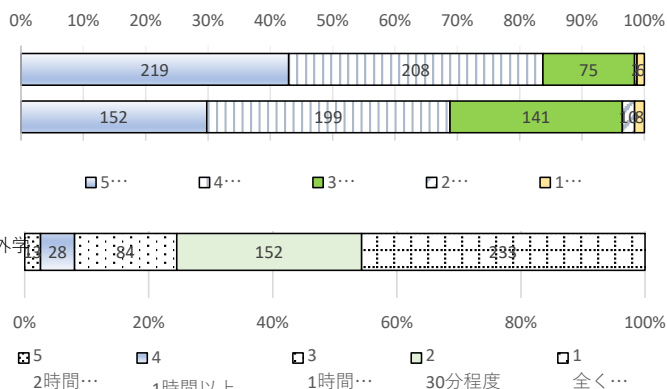
この授業を受講したことによって、
この分野の学びを深めたいと思った。
質疑や課題に対するフィードバックが
あった。



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	219	208	75	2	6	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	152	199	141	10	8	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	13	28	84	152	233	1.9

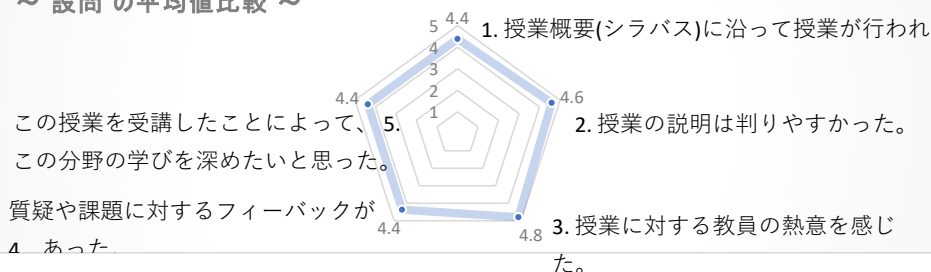
2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。
議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。



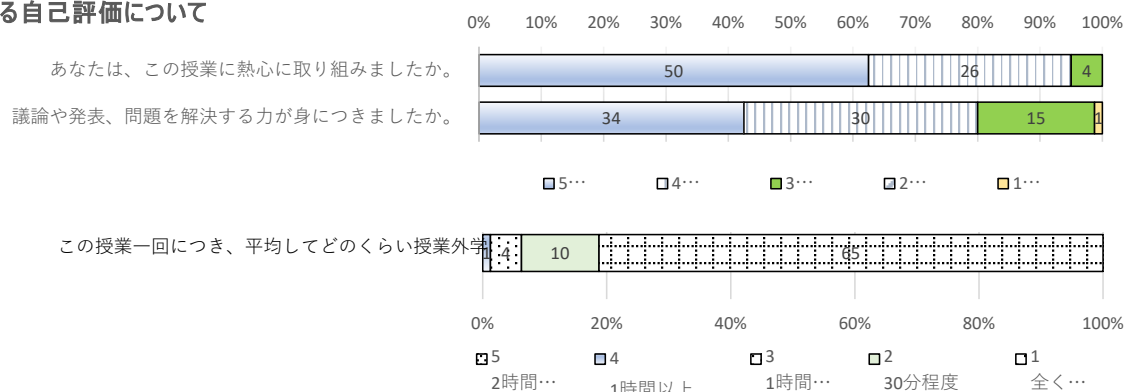
設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	38	35	7	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	49	29	2	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	64	16	0	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	41	28	11	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	38	33	9	0	0	4.4
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	50	26	4	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	34	30	15	0	1	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	1	4	10	65	1.3

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

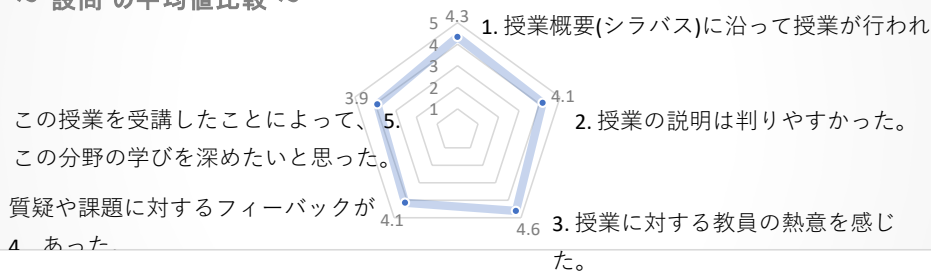
一昨年の遠隔授業、昨年の60分短縮授業・30分課題レポートを経て、令和元年度以来、全15回の授業を90分で行うことができた。今年度は主にバレーボール、ボートボールに取り組んだ。また、サイデン化学アリーナにて3年ぶりに体育大会を実施することができた(学科別)。気温が高い日は熱中症予防のため、マスクの着用を強制せず、大声を出さないよう注意しながら授業を行った。しかしながら、コロナ対策と熱中症予防の両立は難しかった。加えて雨天が多いことや38℃の猛暑もあり、学生の健康を最優先する中でシラバス通りに授業を進行することを断念した。アンケートの結果をみると、総平均が4.5であることから、概ね高い評価が得られた。また、自由記述では、「ただスポーツをするのではなく、保育者の目線になって環境を考えることや安全を考えながら今まで授業を受ける側だったけれど教える立場になってからの活動前の準備が重要だということが分かった。」「体育の授業を通してクラスの人たちとコミュニケーションを取る機会にもなり仲が深まった。体を動かすことの楽しさを改めて感じた。」という記述がみられた。本科目は「スポーツを通じて仲間とのコミュニケーションを深める」ことをねらいとして設定している。自由記述をみても様々な種目を通じて様々な仲間とコミュニケーションを深めることができたことが分かる。

②課題と展望(授業改善方策)

コロナ対策と熱中症予防に留意しながら授業を行った。大事に至るような事故や怪我もなく15回の授業を終えることができた。また、3年ぶりに体育大会も実施することができた。依然として「授業のやりにくさ」はあるが、今年度の経験を踏まえて、安全にかつ十分に身体を動かし、学生同士がコミュニケーションを深められるような授業を目指して努力したい。

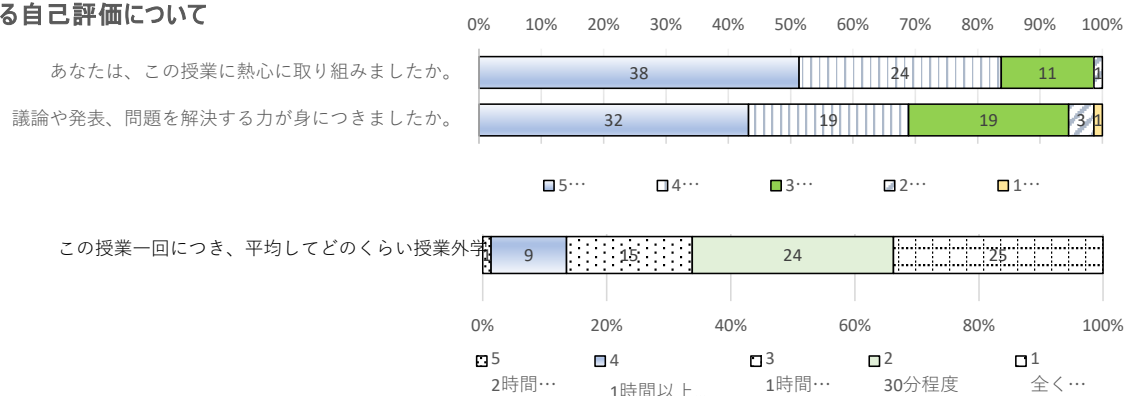
設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	34	32	7	1	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	32	25	13	4	0	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	49	22	2	1	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	31	26	14	2	1	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	27	22	18	5	2	3.9
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	38	24	11	1	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	32	19	19	3	1	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	9	15	24	25	2.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

総平均が4.2(84%)、「説明の分かり易さ」と「課題のフィードバック」4.1(82%)と、良好な結果であり嬉しく思う。特に、「教員の熱意」4.6(92%)や学生の「熱心な取り組み」4.3(86%)と申し分のない結果であり、教師と学生との安定した信頼関係の基に、日頃の真面目で活気のある授業態度や成績の良好さが反映されているよう思う。

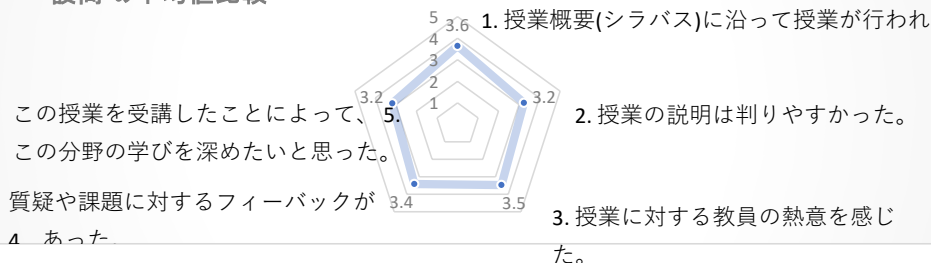
課題としては、「さらに学びを深めたい」で、2や1の評価が計7名いたことである。今後とも、学生の実態に即した教材作成や映像構成の改善を図っていききたい。また、一人一人の学生の疑問にも丁寧に答えていききたい。

②課題と展望(授業改善方策)

英語の授業は、4技能の活動「読む・書く・聞く・話す」が中心となるため、建設的で活気のある授業風土が不可欠である。また、コミュニケーション能力を養うには、日頃から身近な仲間との会話から向上させることが大切である。そのため、望ましい授業の雰囲気作りや、学習者の実態に即した分かり易い説明が重要である。今後とも、これらの基本原則と学生の実態や要望を踏まえ、改善策を工夫していききたい。

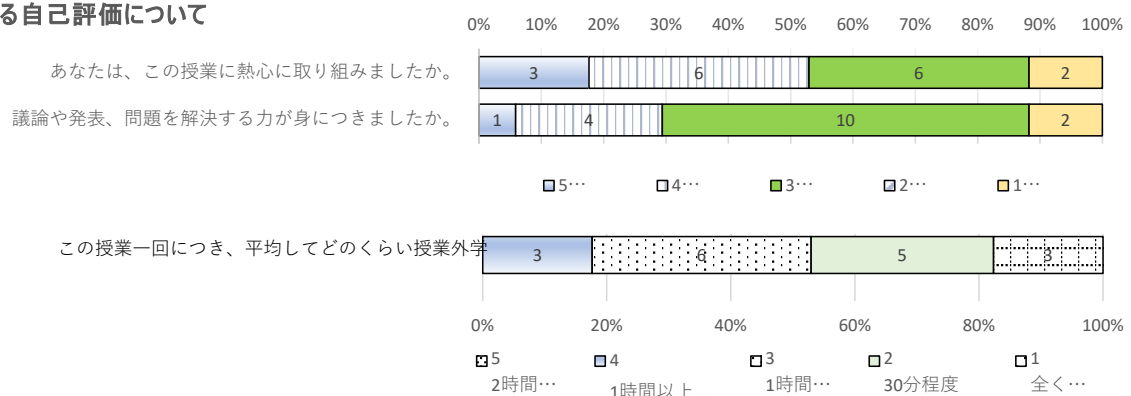
設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	1	10	5	1	0	3.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	2	5	7	1	2	3.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	3	6	6	0	2	3.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	2	5	9	0	1	3.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	2	3	10	0	2	3.2
総平均							3.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	3	6	6	0	2	3.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	1	4	10	0	2	3.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	3	6	5	3	2.5

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

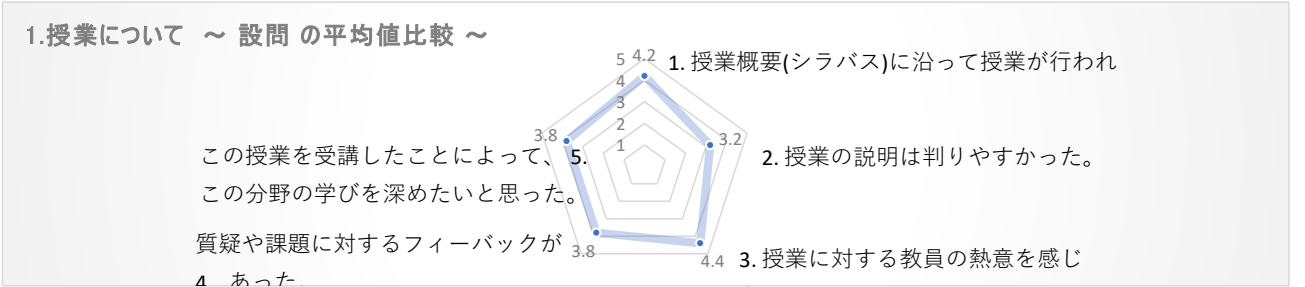
①現状(アンケート結果に対する考察)

「この授業一回につき、平均してどのくらい授業外学習(予習・復習)をしましたか。」の問いにとてもそう思うと回答した学生が18%しかいなかった。アンケートの回答率が悪かった。

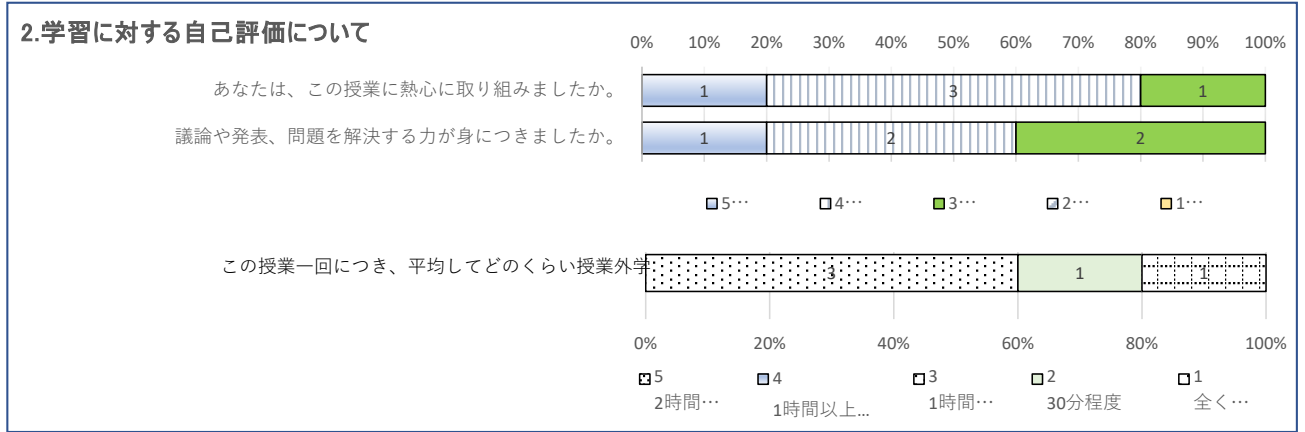
②課題と展望(授業改善方策)

この授業一回につき、平均して授業外学習をしてもらうために、次回の小テストの課題を前もって提示し、予習させたい。小テストの結果が十分でなかった学生に、復習の意味で再提出を必須としたい。アンケートの回答をするよう、授業中に時間を十分とっていききたい。英語を苦手とする学生が多数いたため、プレゼンを避けていたが、次回からは発表の機会を増やし、苦手意識を解消させたい。

設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	2	2	1	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	0	2	2	1	0	3.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	2	3	0	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	1	3	0	1	0	3.8
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	1	2	2	0	0	3.8
総平均							3.9



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	1	3	1	0	0	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	1	2	2	0	0	3.8
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	3	1	1	2.4



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

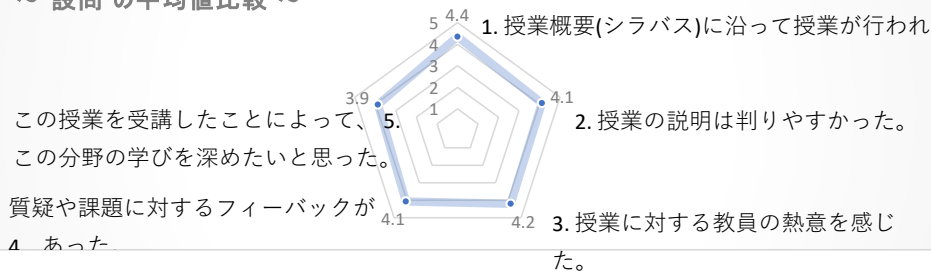
「この授業一回につき、平均してどのくらい授業外学習 (予習・復習)をしましたか。」の問いにとてもそう思わないと回答した学生がいた。アンケートの回答率が悪かった。

②課題と展望(授業改善方策)

この授業一回につき、平均して授業外学習をしてもらうために、次回の小テストの課題を前もって提示し、予習させたい。小テストの結果が十分でなかった学生に、復習の意味で再提出を必須としたい。アンケートの回答をするよう、授業中に時間を十分とっていききたい。英語を苦手とする学生が多数いたため、プレゼンを避けていたが、次回からは発表の機会を増やし、苦手意識を解消させたい。

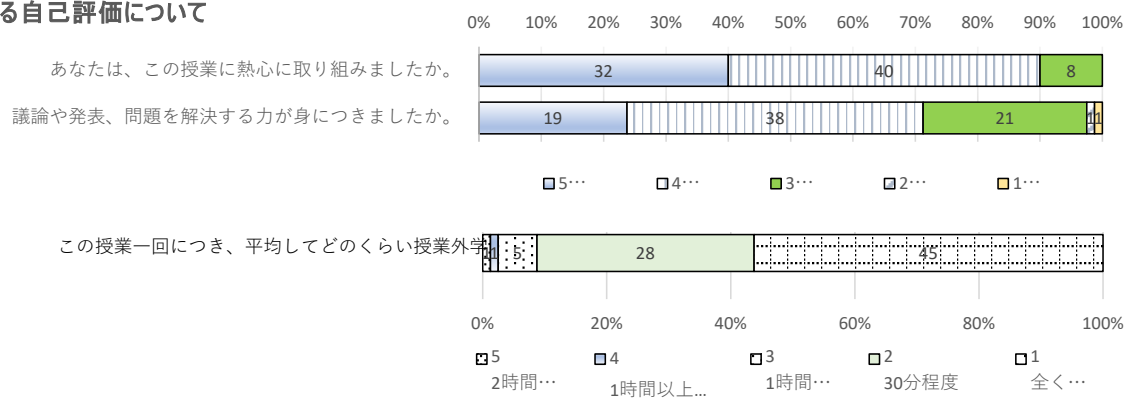
設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	33	42	5	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	30	33	14	2	1	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	33	34	10	2	1	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	30	29	18	3	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	21	33	22	3	1	3.9
総平均							4.1

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	32	40	8	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	19	38	21	1	1	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	5	28	45	1.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

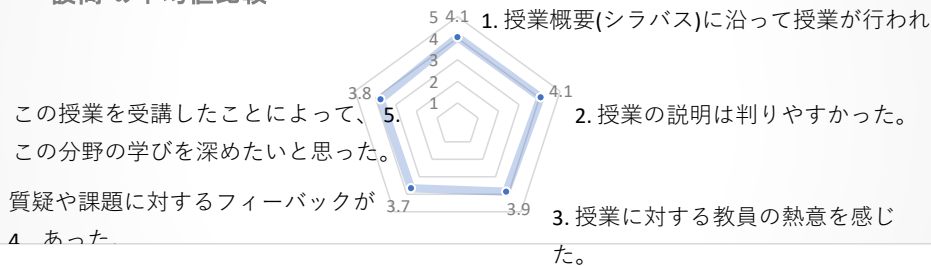
設問1では(1)の「授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた」が平均4.4ポイントでもっとも評価が高かった。次に高かったのが、(3)で4.2ポイントであった。総平均が4.1で昨年と比べると、0.1ポイント下がった。この科目ではOfficeに含まれるWord, Excel, PowerPoint及び情報セキュリティの知識を身に付けることを目標としている。また授業で使用しているweb教材は授業外での利用も可能であり、Officeを苦手と感じている学生にとって有効であると考えている。

②課題と展望(授業改善方策)

全体としてバランスがとれており総平均が4.1で4.0を超えている。また、授業への取り組みについて問うた設問IIの(1)では授業に熱心に取り組んだとの回答が平均で4.3あったにも関わらず(3)の授業時間外での学習時間について、全くしていないと回答した学生が45名おり、30分程度と回答した数を加えると70名を超えているのは残念な結果である。苦手とする項目を重点的に学習するためには自己学習が必須であるということを考えるとさらに課題学習の機会を増やすことも検討したい。今回は90分の対面授業に戻り30分の課題を出すことがなかったことも授業外での学習が少なくなった一因であるかもしれない。次年度については授業時間外の学習を今年以上に強く勧めたい。

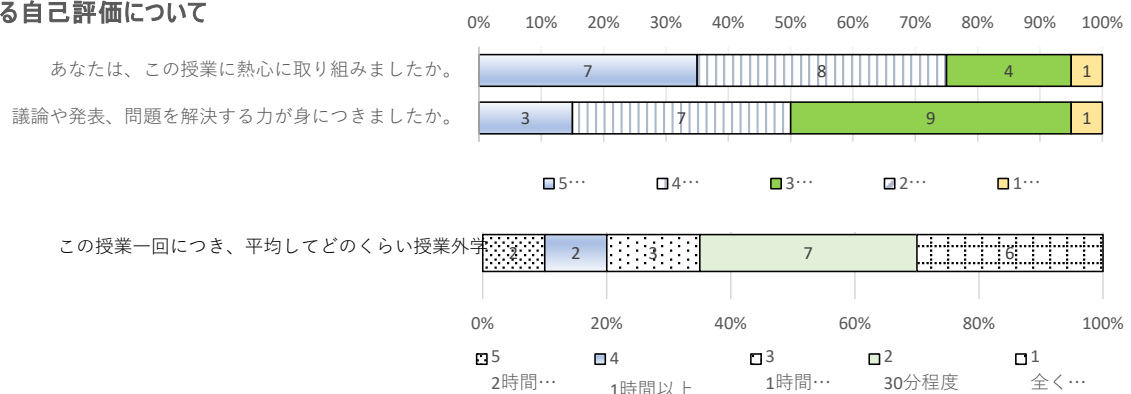
設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	11	4	0	0	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	7	7	6	0	0	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	4	9	7	0	0	3.9
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	5	5	9	0	1	3.7
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	5	5	10	0	0	3.8
総平均							3.9

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	7	8	4	0	1	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	3	7	9	0	1	3.6
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	2	3	7	6	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

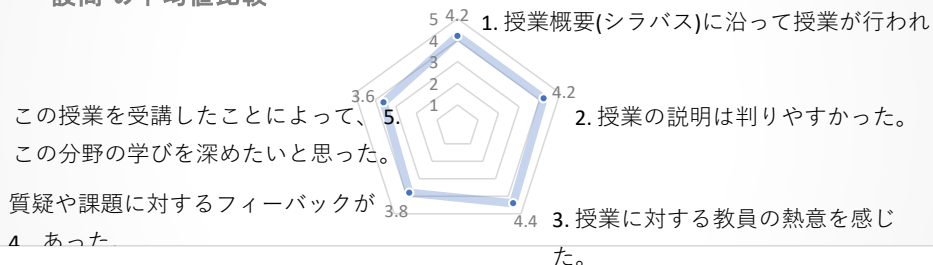
設問 I では、(1)、(2)が最も高い数値に対して、設問(4)が最も低い数値となっていることから、実習で行う大まかな内容は把握出来ているが、詳細な疑問、悩みを抱えたまま授業に取り組んでいたことが考えられる。

②課題と展望(授業改善方策)

授業ごとに冒頭で取り組む課題の説明や留意点を全体に伝えており、巡回しながら行き詰まる学生へ個別に解説を行っていたが、この巡回で質問をしにくい状況であることや、質問があることに気づけていないことが考えられる。このことから、教師用PCから学生全体の画面を見る時間を減らし、より巡回の時間を増やし、質問をしやすい状況を作り出す必要があると考える。

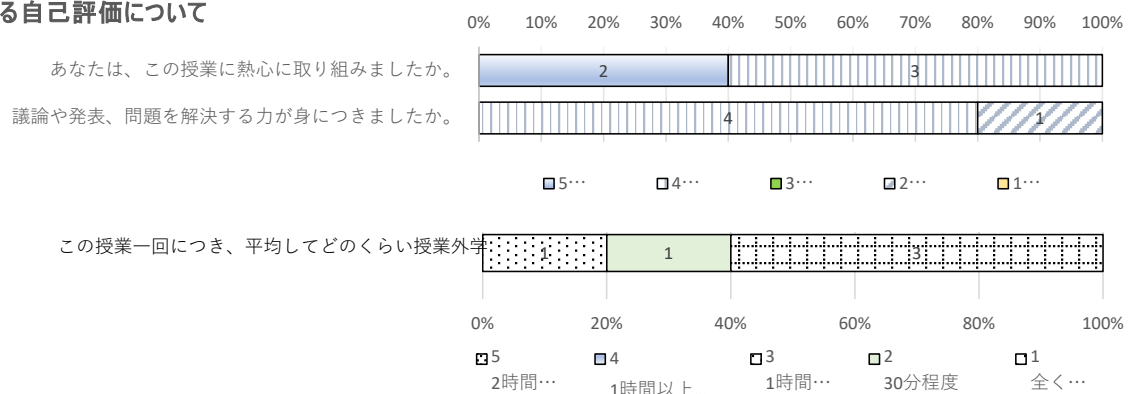
設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	3	1	0	1	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	3	1	0	1	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	3	1	1	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	1	2	2	0	0	3.8
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	0	3	2	0	0	3.6
総平均							4.0

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	2	3	0	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	0	4	0	1	0	3.6
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	1	1	3	1.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

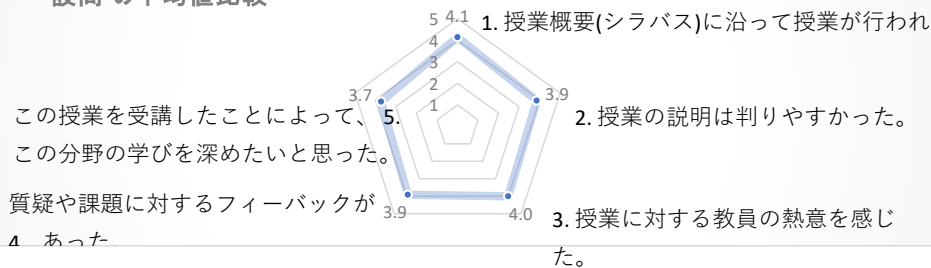
設問 I では、(1)、(2)が高い数値に対して、設問(4)、(5)が低い数値となっていることから、実習で行う大まかな内容は把握出来ているが、詳細な疑問、悩みを抱えたまま授業に取り組んでいたことが考えられる。

②課題と展望(授業改善方策)

授業ごとに冒頭で取り組む課題の説明や留意点を全体に伝えており、巡回しながら行き詰まる学生へ個別に解説を行っていたが、この巡回で質問をしにくい状況であることや、質問があることに気づけていないことが考えられる。このことから、教師用PCから学生全体の画面を見る時間を減らし、より巡回の時間を増やし、質問をしやすい状況を作り出す必要があると考える。

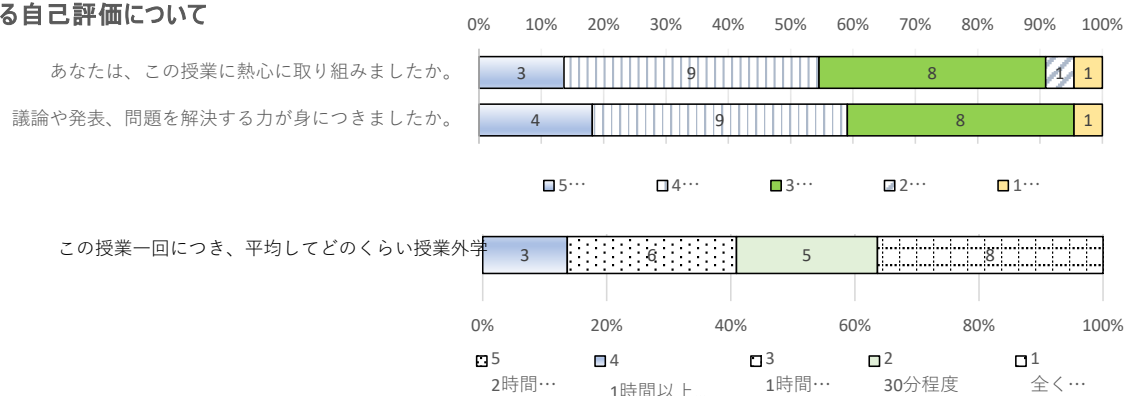
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	8	9	5	0	0	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	9	8	0	0	3.9
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	6	10	6	0	0	4.0
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	9	6	1	0	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	4	9	8	1	0	3.7
総平均							3.9

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	3	9	8	1	1	3.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	9	8	0	1	3.7
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	3	6	5	8	2.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

全体の平均値よりも下回る値であったので、工夫改善を図らなければならない。授業時間外の学習時間が少ない傾向にあるので、学生に積極的に取り組んでもらえる仕掛けが必要である。ただ、講義の糸である議論や発表の力を高めることに学生が関心をもってくれたことはありがたい。

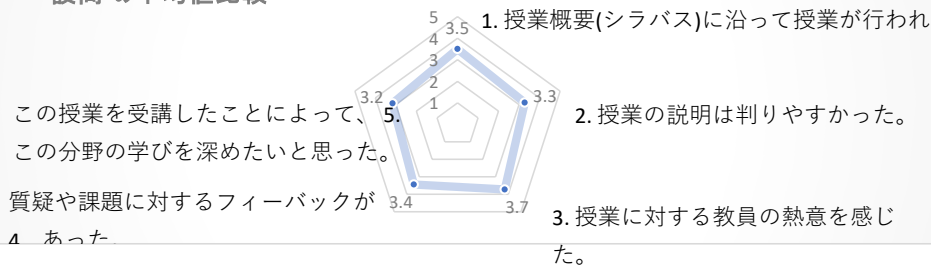
②課題と展望(授業改善方策)

その日の講義のテキストをその場で渡していたので、予習をして授業に臨む学生が少なかったと感じる。講座のまとめごとにテキストを配付し、授業を行うことで改善を図っていききたい。また、アンケートに回答した人数も少ないので、声掛けを行いこちらも改善していききたい。

今までの講義は、実務的な能力育成に力点を置いていたが、学生の実態を十分に把握し、さらに授業改善に取り組んでいきたい。

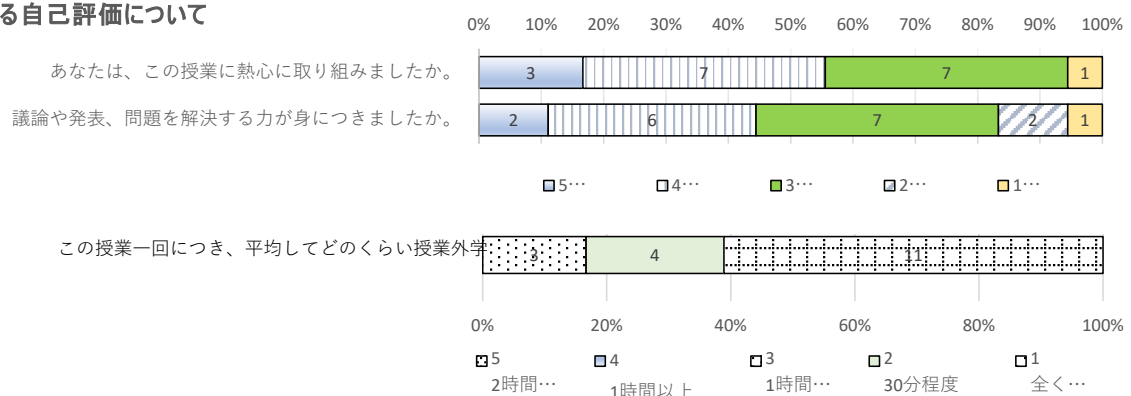
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	2	7	7	2	0	3.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	2	7	4	4	1	3.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	3	9	4	2	0	3.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	2	9	4	1	2	3.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	2	4	9	1	2	3.2
総平均							3.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	3	7	7	0	1	3.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	2	6	7	2	1	3.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	3	4	11	1.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

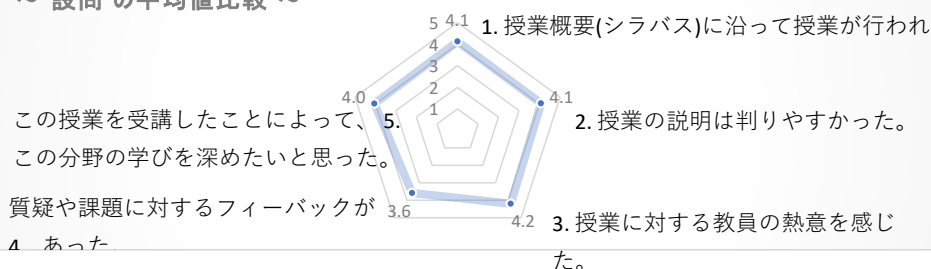
「授業の説明は分かりやすかった」に対して「普通」と「あまりそう思わない」が少なからずあった。本授業が知識の記憶のみではなく「考えること」を主眼にしたものであるからだ。記憶(覚えること)を学習とみなしてきた学生にとって、戸惑いは続き、学習内容に理解が届かないまま終わってしまうようだ。授業開始にあたり力説したつもりだったが、それさえ理解が届かない一部学生がいるということだろう。

②課題と展望(授業改善方策)

上の反省を踏まえ、講義のはじめに「考えること」の重要性に対する理解の徹底をはかり、了解を得てから講義を進めることにする。その方法として、学生との対話、学生同士の対話・討論の時間も一層とるようにしたい。コミュニケーション論という授業はまさにそれを主眼としているわけで、このことをさらに心にとめて講義を進める。教養科目は、学びにおける論理的思考の大切さを教えるものであることを強調してゆく。

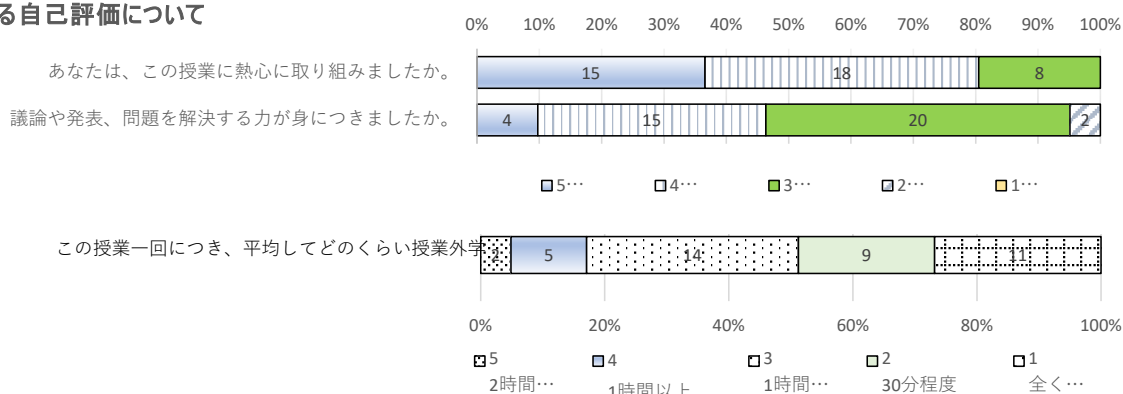
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	14	18	9	0	0	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	13	18	10	0	0	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	15	19	7	0	0	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	7	14	17	2	1	3.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	11	21	9	0	0	4.0
総平均							4.0

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	15	18	8	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	15	20	2	0	3.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く して いない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	5	14	9	11	2.5

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

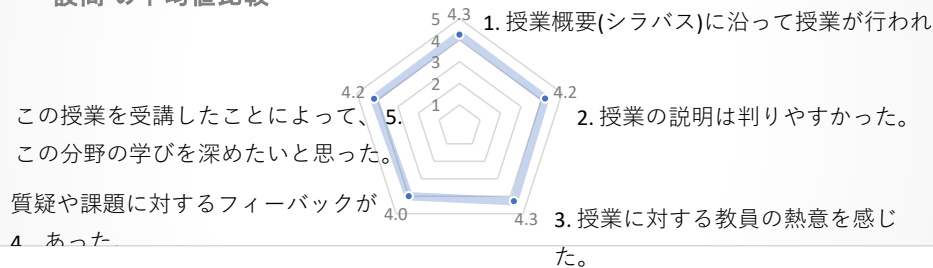
両学科共通の1年生の開講科目であるため、今後の授業科目や卒業後にも活用できるようにしております。授業時間外の学習時間の確保が不足している学生が多く見受けられることが今後の課題と考えます。

②課題と展望(授業改善方策)

授業外学習時間の確保に対して、課題内容の検討が必要だと考えております。授業の振り返りだけでなく、授業後さらに知識を深められる内容となるように再検討いたします。

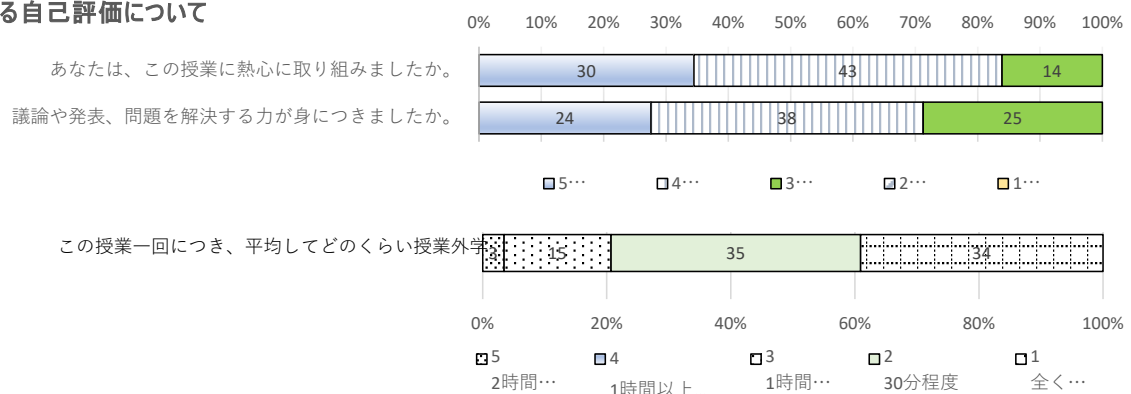
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	34	41	12	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	34	34	19	0	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	40	32	15	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	23	42	21	1	0	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	29	43	15	0	0	4.2
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	30	43	14	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	24	38	25	0	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	0	15	35	34	1.9

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

4人の授業者による8回授業という特性から、学生の興味関心を引きつける授業内容となつたのではないかと推察する。授業後のレポート等にも、他の担当者の授業での学びが反映されているケースもあり、全体として「子どもと発達」について、学生は多角的に学びを深めることができたのではないだろうか。

②課題と展望(授業改善方策)

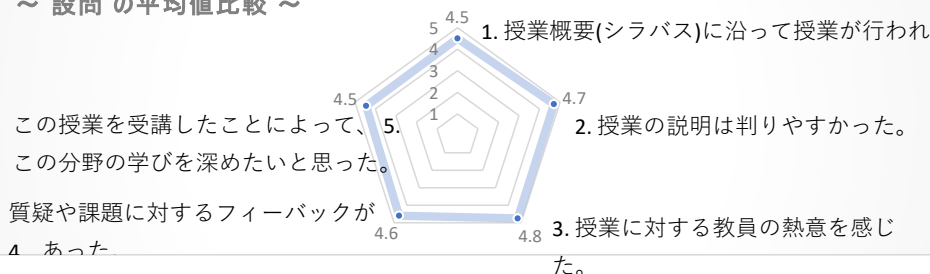
4人の授業者が、それぞれの専門性をもって、子どもの発達に関する情報を提示し、学生に学びの場を提示するシステムは効果的であるとする。今後、可能な限り、各授業者間の授業内容や、学生の反応等に関して情報共有を進め、学びの質を高めていきたい。

設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	11	8	1	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	15	4	1	0	0	4.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	15	5	0	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	14	4	2	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	12	6	1	1	0	4.5

総平均

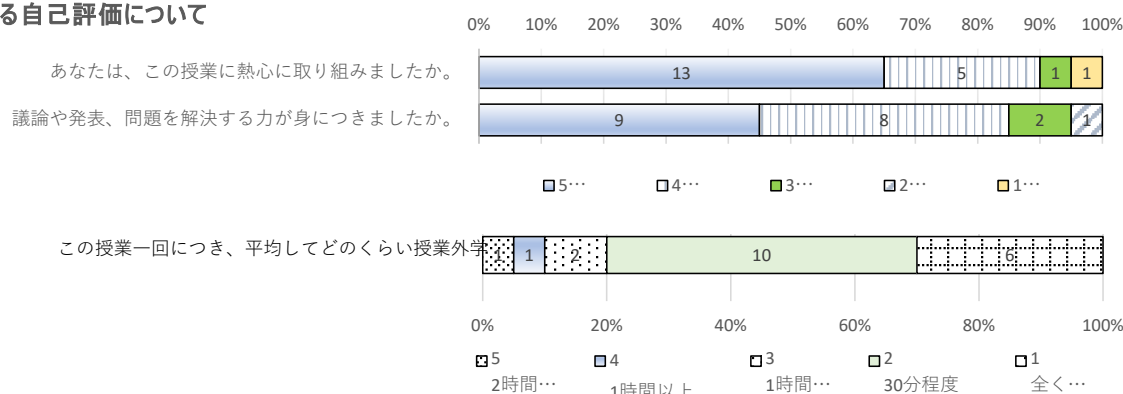
4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	13	5	1	0	1	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	9	8	2	1	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	2	10	6	2.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

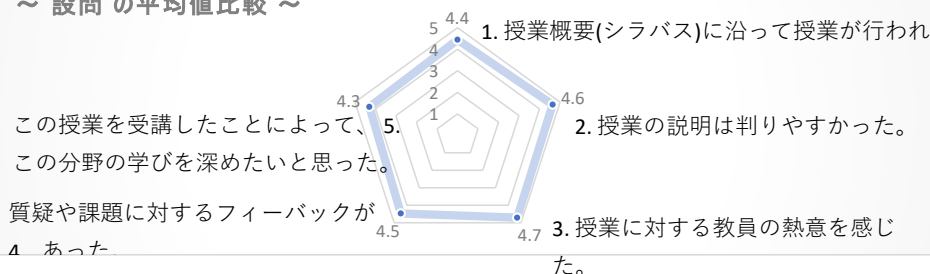
20名が受講する講座で両学科の学生が混じった木曜日5限目の授業である。シラバスで予告した内容に基づき、SDGsの視点も加えて、毎回テーマを絞ってA3両面の資料を配布した。8回のみで時間に余裕がなく、講義の場面が多くなったが、毎時間の提出課題として、「君たちならどうするか?」といった究極の場面の問いを設け記述させた。地球規模での大きな話も多く、学生にとっては、身近な話題ではなかったかもしれない。周りの学生との協議や、発言の場面も設けたが、やや深まりに欠けた。次回以降で、回収した課題レポートへのコメント、考え方の部分を資料として配って解説した。

②課題と展望(授業改善方策)

ボランティアに関する基礎知識を踏まえつつ、深く考えさせる時間、意見交換をする時間を確保したい。毎回の課題レポートでは、ボランティア活動の抱える課題、問題点に対する意見を求めた。周りの学生との協議などの場面もとったが、それらを共有し、学習を深める場面が少なかった。最終回に実施したアンケートで、「ボランティアに興味あり」「やってみたいか」には95%の学生が前向きに答えていたが、「ボランティア活動に1年以内に経験あり」は15%に過ぎず、実行に移すまでには壁があるようである。考査の代わりに実施したのは、地元の様々なボランティア活動の募集内容の調査であった。地元の社会福祉協議会などを訪ねるなどして、足で調べて欲しかったが、ネットの情報をまとめたのみの学生が大半であった。残念であった。

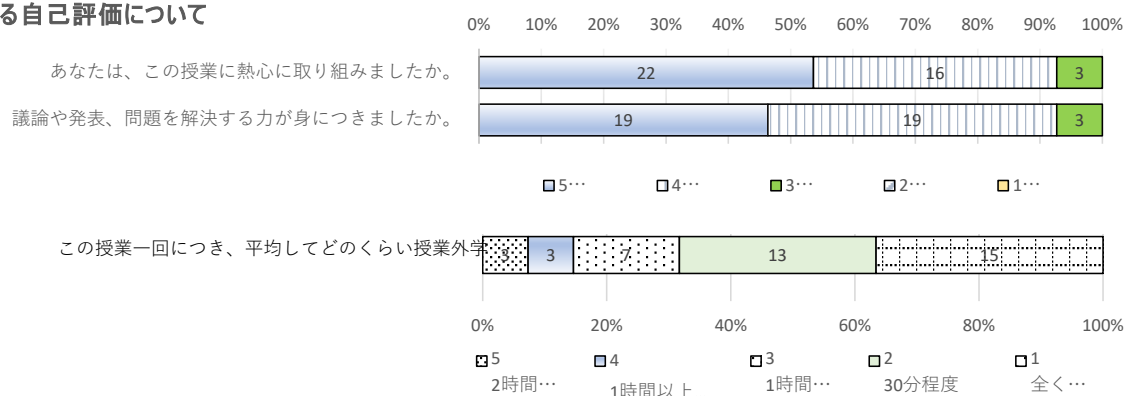
設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	23	13	5	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	28	11	2	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	30	10	1	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	25	10	6	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	21	11	9	0	0	4.3
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	22	16	3	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	19	19	3	0	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	3	7	13	15	2.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

昨年度の評価と数値の増減を比較すると、設問Ⅰでは(1)が-0.1、(2)が-0.2、(3)は±0、(4)が-0.1、(5)が-0.1、総平均では-0.1だった。この中で最も前年度との差が大きかった評価項目の(2)「説明がわかりやすかったか」については、今後の検討事項である。

設問Ⅱでは、(1)(2)ともに±0、(3)は+0.1だった。

全体を通して設問Ⅰ(5)の「この分野の学びを深めたい」についてが最も低い評価だったので、授業の工夫改善が必要である。

②課題と展望(授業改善方策)

学生たちのワークシートへの記載内容や議論の様子を注意深く観察し、学生一人一人の知識や理解の深まり状況の把握に一層努めるとともに、教材内容の工夫や新規教材開発に努め、学習活動を通して「学びを深めたい」という思いをもたせていきたい。

科目コード: 0200

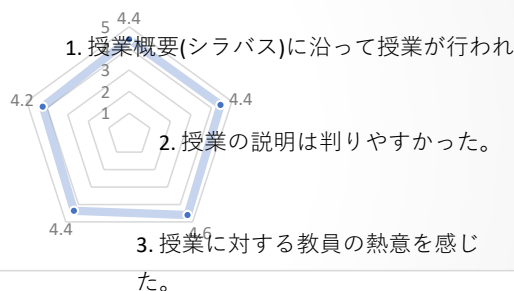
科目名 2年 教養科目

回答者数: 38 名

設問Ⅰ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	21	14	2	0	1	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	22	13	2	0	1	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	29	5	3	0	1	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	21	12	4	0	1	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	19	10	8	0	1	4.2
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

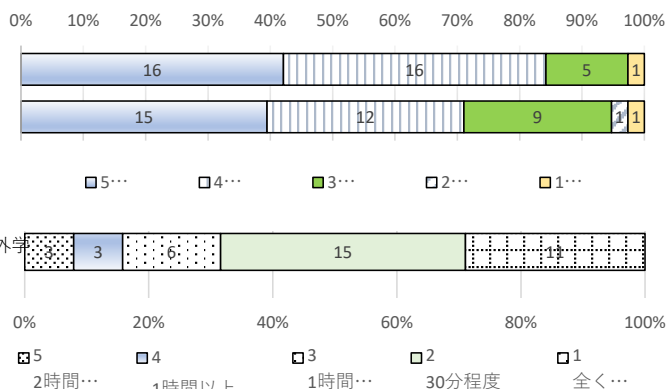
この授業を受講したことによって、
この分野の学びを深めたいと思った。
質疑や課題に対するフィードバックが
あった。



設問Ⅱ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	16	16	5	0	1	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	15	12	9	1	1	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	3	6	15	11	2.3

2. 学習に対する自己評価について

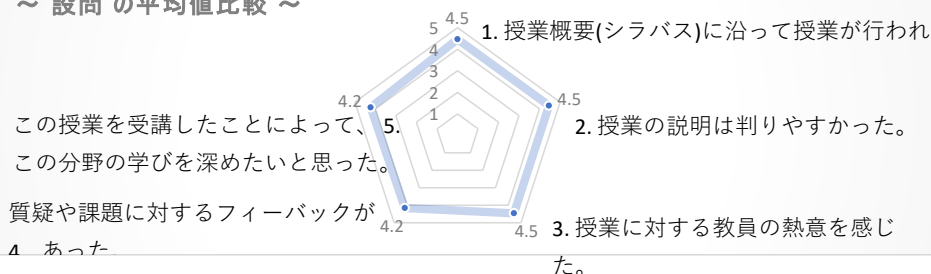
あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。
議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。



設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	7	5	1	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	7	5	1	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	8	3	2	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	5	5	3	0	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	6	4	3	0	0	4.2

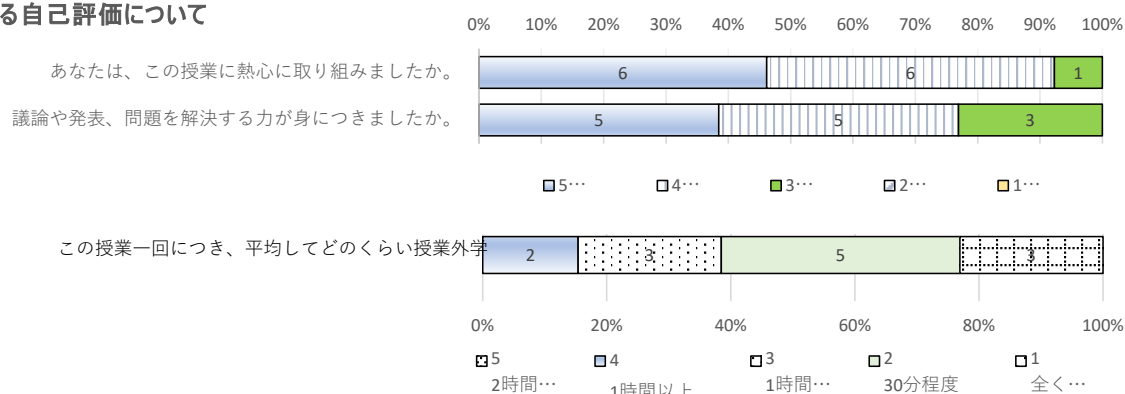
総平均 4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	6	6	1	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	5	3	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	2	3	5	3	2.3

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

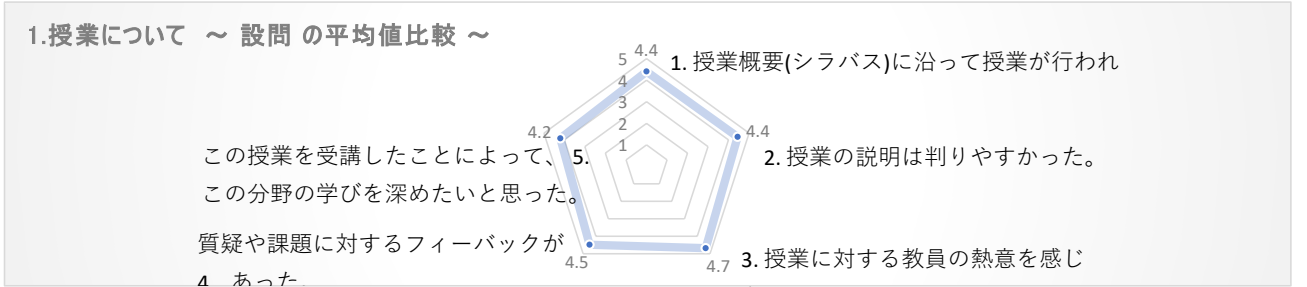
①現状(アンケート結果に対する考察)

海外への渡航ができない中であって、国内(横浜)での研修を核に、科目としての目的が達成できるよう内容の工夫を図ってきたが、学生の満足度としては比較的良好であったと捉える。履修の過程における課題の提出や最終成果物としてのノートの作成等では、苦勞している学生の姿も見られたが、それぞれ前向きに取り組んでいた様子が窺える。

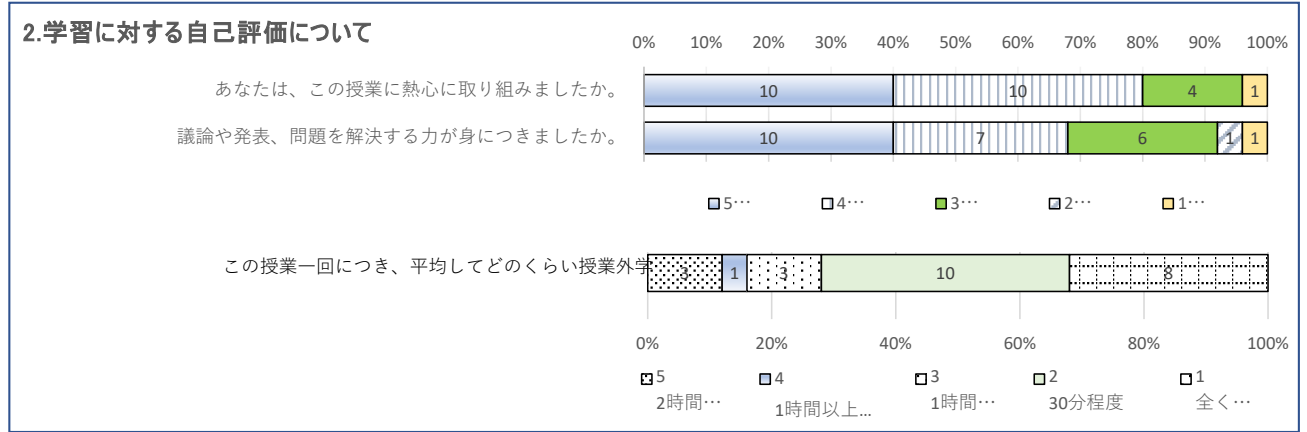
②課題と展望(授業改善方策)

科目「海外研修」については、コロナ禍にあって学修内容の変更を余儀なくされているが、本学の伝統や科目としての学修成果を踏まえながら、学生の様々な実態を考慮しつつ、次年度も内容の検討を継続して行っていきたいと考える。

設問Ⅰ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	14	9	1	0	1	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	15	8	1	0	1	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	21	2	1	0	1	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	16	7	1	0	1	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	13	6	5	0	1	4.2
総平均							4.4



設問Ⅱ	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	10	10	4	0	1	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	10	7	6	1	1	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	1	3	10	8	2.2



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

32名の両学科の2年生が選択する、金曜日5限目の講座である。シラバスに基づき、毎回テーマを決め、盛りだくさんの埼玉に関する資料を提供した。地元への誇りや郷土愛が少ない埼玉県民の県民性は何が原因なのか、等、学生に考えさせる場面も設け、周りとの協議や意見を聞いたりもしたが、やや深みに欠けた。私の方に伝えたい内容が多く、盛りだくさんになり、また、あまり学生が地元埼玉のことを知らないため、やや一方的な講義の場面が多くなってしまった。毎回、「誰かに話したくなる埼玉のミニ知識」を聞いたが、中にはいろいろ記述する者もあり、授業で取り上げ、全体の前で情報共有した。8回授業のプリントが埼玉学のテキストになるよう、A3両面の資料は、保存に耐えるものとした。

②課題と展望(授業改善方策)

渋沢栄一の大河ドラマ、1万円札登場など、何かと話題になっている埼玉県であるが、県民性はやや自虐傾向にあり、県民愛に乏しいと感じている。学生に親しみやすい漫画や映画、観光、食などの話題を大量に盛り込んで、毎回A3両面の資料を配布し、動画も含めたパワーポイントの資料も充実させた。最終的にテストを実施せず、代わりに自分の出身市町について調べてまとめさせた。数人に発表させたことで、地元を知るきっかけとなったと思う。楽しい話題から学生同士が盛り上がり、私語が収まらないケースもあったが概ね好評であった。今後は、埼玉県の課題を捉えて、その改善策を話し合うなど、学びを深める講座を目指したい。仕方ない部分はあるが、金曜日5限目は、直前の4限目授業がなく待っている学生も多くいた。